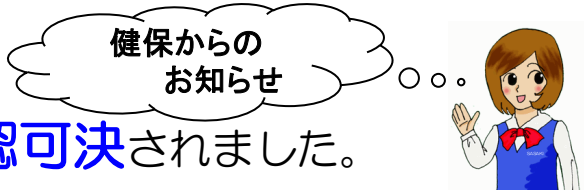


JVCケンウッド 健康保険組合の決算が承認可決されました。



予算より良化したものの前年度に引き続き**経常赤字(▲188 百万円)**となりました。
保険給付費と高齢者納付金が重い負担となっています。

去る7月27日(木)に開催されたJVCケンウッド健康保険組合 第206回組合会において、令和4年度の事業および収支決算の審議が行われ、原案どおり承認可決されました。

決算の概要

【一般勘定】

<概要>

- ・経常収入では、保険料収入は、予算対比99.2%、予算差31百万円の減少となりました。その他利子収入や事業主からの定健見合い収入など含めた経常収入全体では、3,791百万円、予算差で30百万円の減少、前年度差で35百万円の減少となりました。
- ・経常支出では、給付費は、リスクを含んだ予算建てのため予算内で収まったものの、前年度比100.7%の14百万円増となりました。その他事務費、高齢者納付金、保健事業費等の対予算減少で、経常支出合計では3,979百万円の支出となり予算差で255百万円の減少、前年度差で26百万円の減少となりました。
- ・上記の結果、**経常収支は413百万円の赤字予算に対し188百万円の赤字**で締めることができました。
- ・別途積立金の繰入を予算どおり行ったことと、交付金・補助金もあったため、経常外も含めた**最終収支残高は882百万円の黒字**となりました。

<収入のポイント>

- ・当年度は保険料率84%を維持しました。保険料計算の基となる年間平均標準報酬月額が455,868円で予算比99.7%、予算差1,521円の減となりました。一方、総標準賞与額は9,217百万円で予算比103.2%、予算差286百万円の増となりました。被保険者数の減少傾向もあり、保険料収入全体としては予算対比99.2%となりました。

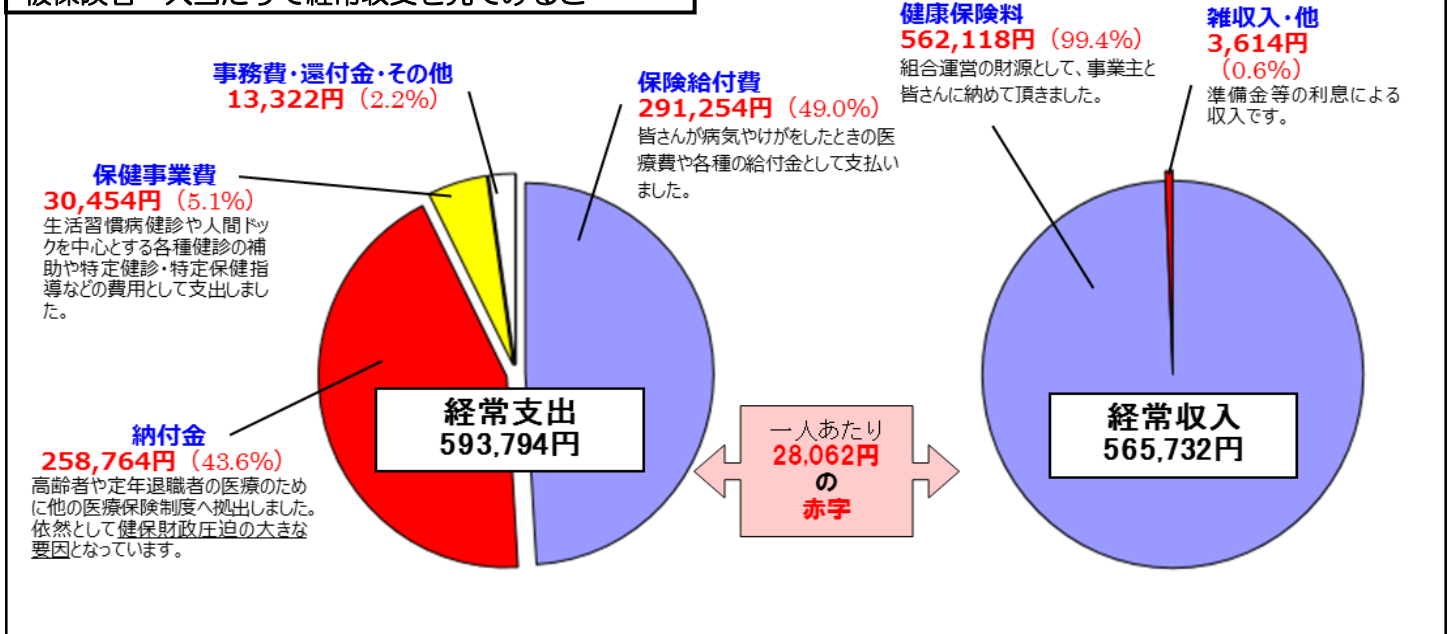
<支出のポイント>

- ・保険給付費において、被保険者一人あたりの給付費が前年度より5,339円増加し291,254円(前年度比101.9%)となりました。要因として被保険者の薬剤支給費が増加傾向であり、高額な薬剤の保険適用の影響が考えられます。また、傷病手当金、家族療養費も増加傾向です。
- ・高齢者納付金は、前期高齢者納付金で前々年度の精算分の追加徴収分がありましたが、後期高齢者支援金では前々年度の精算戻りとなり納付金総額では前年度比97.5%となりました。
- ・保健事業費は合計が204百万円で、前年度比99.6%となりました。前年度に新型コロナの影響により見送りとなった歯科集団検診等一部事業についても当年度は無事実施することができ、ほぼ前年どりの実績となりました。

【介護勘定】

- ・当年度の介護保険料は18%を維持しました。保険料収入は予算対比で99.1%となりました。平均標準報酬月額・総賞与額・被保険者数は一般勘定とほぼ同様の動きとなっています。
- ・準備金繰入を含め収支結果は、収支残金70百万円の黒字となり、**当年度は介護納付金を介護保険料で賄うことができました。**

被保険者一人当たりで経常収支を見てみると・・・



令和4年度 収入支出決算概要

□ 一般勘定 □□□□□

【決算基礎数値】

- 平均被保険者数：6,701人
- 平均標準報酬月額：455,868円
- 総標準賞与額（年間合計）：9,217百万円
- 扶養率：0.86人
- 被保険者の平均年齢：47.81歳
- 保険料率：84.00%

(百万円)

(百万円)

| ● 収入 ● | | |
|---------|-------|-------|
| 科目 | 決算額 | 予算額 |
| 健康保険料 | 3,767 | 3,797 |
| 調整保険料 | 67 | 68 |
| 繰入金 | 984 | 984 |
| 国庫補助金 | 30 | 2 |
| 高額医療交付金 | 56 | 20 |
| 雑収入・他 | 24 | 23 |
| 合計 | 4,928 | 4,894 |
| 経常収入合計 | 3,791 | 3,821 |

| ● 支出 ● | | | | |
|--------|-------|-------|-------------|-------|
| 科目 | 決算額 | 予算額 | 保険料収入に対する割合 | |
| 事務費 | 85 | 104 | 2.2% | |
| 保険給付費 | 1,952 | 2,122 | 51.8% | |
| 納付金 | 前期高齢者 | 795 | 808 | — |
| | 後期高齢者 | 939 | 959 | — |
| | 退職者給付 | 0 | 0 | — |
| | 計 | 1,734 | 1,767 | 46.0% |
| 保健事業費 | 204 | 236 | 5.4% | |
| 還付金 | 0 | 1 | 0.0% | |
| 財政調整事業 | 67 | 68 | 1.8% | |
| その他 | 4 | 5 | 0.1% | |
| 予備費 | 0 | 592 | 0.0% | |
| 合計 | 4,046 | 4,894 | — | |
| 経常支出合計 | 3,979 | 4,234 | — | |
| 経常収支残高 | ▲188 | ▲413 | — | |
| 最終収支残高 | 882 | 0 | — | |

□ 介護勘定 □□□□□

【決算基礎数値】

- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数（平均）：5,113人
- 平均標準報酬月額：494,186円
- 総標準賞与額（年間合計）：7,797百万円
- 介護保険料率：18.00%

(千円)

(千円)

| ● 収入 ● | | |
|--------|---------|---------|
| 科目 | 決算額 | 予算額 |
| 介護保険料 | 689,032 | 694,964 |
| 繰越金 | 0 | 0 |
| 準備金繰入金 | 54,532 | 54,532 |
| その他 | 4 | 4 |
| 一般勘定受入 | 0 | 0 |
| 収入合計 | 743,568 | 749,500 |

| ● 支出 ● | | | |
|--------|---------|---------|------------|
| 科目 | 決算額 | 予算額 | 被保険者一人あたり額 |
| 介護納付金 | 673,612 | 680,000 | 130,672円 |
| 還付金 | 339 | 960 | 66円 |
| 準備金繰入 | 0 | 68,540 | — |
| 一般勘定繰入 | 0 | 0 | — |
| 支出合計 | 673,951 | 749,500 | 130,737円 |
| 収支差引額 | 69,617 | 0 | — |

1. 一般勘定

令和5年3月31日現在

| 種別 | 金額(千円) | |
|-------|-------------|-----------|
| | 金額 | 金額 |
| 準備金 | 金員 銀行預金(定期) | 956,916 |
| | 支払基金委託金 | 20,846 |
| | 合計 | 977,762 |
| 別途積立金 | 金員 金銭信託 | 0 |
| | 銀行預金(定期) | 4,870,933 |
| | 合計 | 4,870,933 |
| 退職積立金 | 金員 銀行預金(定期) | 12,064 |
| | 合計 | 12,064 |
| その他 | 土地/建物 | 0 |
| | その他備品 | 1,197 |
| | ラフォーレ預託金 | 78,000 |
| | 合計 | 79,197 |
| 一般勘定計 | | 5,939,956 |

令和4年度 収支決算残金処分

1. 一般勘定

- 収支決算残金 882,402,504円
- (1) 法定準備金 0円
- (2) 別途積立金 882,150,390円
- (3) 財政調整事業繰越金 252,114円

2. 介護勘定

- 収支決算残金 69,616,764円
- (1) 法定準備金 69,616,764円

2. 介護勘定

令和5年3月31日現在

| 種別 | 金額(千円) | |
|-------|-------------|---------|
| | 金額 | 金額 |
| 介護準備金 | 金員 銀行預金(定期) | 243,199 |
| | 合計 | 243,199 |
| 介護勘定計 | | 243,199 |

令和4年度 事業報告

令和4年度の保健事業において、最重要課題として取り組みました「特定保健指導実施率」「被扶養者の特定健診受診率」「重症化予防通知後の受診率」について、前年度より各事業とも数字はUPしましたが目標値には未達でした。次年度も引き続き重点課題として取り組んでまいります。また、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送っていましたが「歯科集団検診」も実施時期を見直し（冬→夏）全面再開を行うなど、当初計画の保健事業はほぼ実行できました。

各保健事業の実施結果、課題等について以下に報告します。併せて業務改善（事務担当者の業務軽減等に向けた取組）についても報告します。

| | 目標/計画 | 実績 | コメント・課題等 |
|--------------------------|-----------------------------|--|--|
| ■ 特定健康診査・特定保健指導 | | | |
| 特定健康診査（受診率） 被保険者/被扶養者 | 87.1% 99.0%/58.9% | 86.2% 97.5%/56.6% ※見込 | 最重要課題である被扶養者の受診率について、被扶養者向け健診コースの無料化、受診勧奨頻度を1回(2月)→2回(11,2月)に増やしたことにより、目標値は未達だが、過去最高の受診率を記録。 ※前年度実績 85.3% |
| 特定保健指導（実施率） 被保険者/被扶養者 | 33.90% | 21.2% ※見込 | 前年よりは実施率UPも継続して令和5年度最重要課題として取り組む ※前年度実績：13.2% |
| ■ 疾病予防事業 | | | |
| 人間ドック/生活習慣病健診 | ☆4,374名 | 4,074名 | 前年度（4,297名）より利用者減 |
| がん検診 | 5大がん受診率 50%以上 (国の目標値) | 胃:65% 大腸:79% 乳房:41% 子宮:34% 肺:84% | 対象:30歳以上(前年:65%) 対象:30歳以上(前年:78%) 対象:25歳以上(前年:41%) 対象:25歳以上(前年:33%) 対象:40歳以上(前年:83%) |
| インフルエンザワクチン接種補助 | ☆6,800名 | 5,656名 | 接種率46%(前年45%:5788名) |
| 歯科健診(集団検診) | ☆1,680名 | 1,233名 | 11事業所で実施 |
| 重症化予防(受診勧奨通知) | 32% 通知後の受診率 | 25.50% | 前年度(19.7%)よりはUP |
| 禁煙サポート | ☆30名 | 19名 | 禁煙ガム購入キャンペーン利用者数 |
| セミナー補助(メンタル対策等) | ☆300万円 | 0円 | ※未実施(適用事業所からの利用申請無し) |
| ■ 保健指導宣伝事業 | | | |
| 健康年齢通知書配布 | ☆6,000名 | 5,462名 | 健保に健診データ提供の35歳未満の方へも配布 ※参考 実年齢と健康年齢の差 ▲1.6歳(対前年▲0.3歳) |
| WEBウォーキング | ☆500名 (完歩者) | 392名 | 前年:323名より増加 ※被扶養者も令和4年度より参加対象とした。 被扶養者参加者:11名 |
| ■ 健康管理事業推進委員会 | | | |
| | 4回/年 開催 | 計画通り 4回開催 | 5/27・9/9・12/20・3/10 |
| ■ 医療費適正化 | | | |
| ジェネリック医薬品利用促進通知 | 1回/年 | 1月配布 | ジェネリック使用率:84.5%(1月診療分) ※国の目標:80%以上 利用促進通知による効果金額:463万円(通知後6ヶ月の累計) |
| 柔道整復療養費 | 照会文回収徹底 | 返戻額 12.7万円 | 内容点検・照会文照合による申請よ返戻件数34件。 回収徹底は次年度も継続課題。 |
| 被扶養者資格確認調査 | WEB実施 | 扶養削除 45名 | 医療費換算で△511万円の適正化 |
| ■ 業務改善 | | | |
| 事業主からの電子申請 | 電子化義務4社 任意 14社 | 義務 3社 任意 6社 | R4年度に電子申請可能となった事業所 1社(任意事業所) |
| マイナンバー収集の徹底 | 収集率:100% | 96.9% | (他保険者に他人への紐づけの事例判明によりR5年度に点検実施) |
| 経理決裁業務の電子化 | R4度導入 | 予定通り | 業務効率化、組織/職員の働き方改革への対応 |

☆: 予算上的人数・金額 赤字: 目標未達
青字: 目標達成